

【警察庁】実況見分等における図面作成の合理化

課題の背景

各種事件捜査に当たっては、被害現場等の状況を明らかにするとともに証拠を保全するため、実況見分・検証を実施している。実況見分・検証の実施後には、実況見分調書・検証調書を作成することとなるが、これら文書に添付する図面は現状手作業で行っており捜査員にとって大きな負担（年間数万件以上）となっており、図面作成の効率化が課題となっている。

課題のゴール

警察の実況見分等において作成が必要となる現場の図面の作成について、効率的かつ簡易に行う仕組みをつくり、捜査員の負担軽減を目指す。

求められる要件（機能要求・関連基準等）

- ・画像などから2D図面に落とし込むことができること
- ・所要時間について、データの取得から図面の作成まで数時間程度であること
- ・資機材単価は、数万～十数万円程度以内を想定
- ・オンプレミス環境下で動作すること
- ・cm単位のオブジェクトを認識できること

※本課題を解決できるものであれば手法は問わないが、例えばスマートフォンやカメラ等の小型端末で動画または画像を撮影し、その情報から現場の状況を図面化するような方法をイメージしている。

協力事項

- ・ニーズや解決手法に関する検討協力、取組内容の評価
- ・図面例の提供
- ・（一定程度の実用化が見込める段階となった後）模擬家屋等における検証等